

第45号 (1月) 2017年 1月1日	七里ヶ丘子ども若者支援研究所  <b>それが社会参加だ!</b>	住所:鎌倉市七里ヶ浜東 2-31-12 連絡先:090-7212-4055 Email:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp 編集長:新舛秀浩 発行責任者:滝田衛
-------------------------------	--	---

## 2017年 **あげましておめでとございます**

### コラム風 いじめ・不登校を地域で解決 子ども若者の未来を拓く年へ(滝田衛)

いじめも姑息になった。大人をまね、原発被害の故郷を追われた子どもが、いじめ被害者となる。何重にも追われる学校(横浜・新潟)がある。理不尽な連鎖、自己責任を迫る地域社会が今ここにある。なるほど、いじめの加害者の子どもも、大人社会の被害者かも知れない。

### いじめ・不登校は子どもの責任ではない

僕は12月19日(月)午後、東京大学安田講堂で「異才発掘プロジェクト3期生オープニングセレモニー」に参加した。このプロジェクトは東京大学先端技術研究所の中村賢龍教授がリードする。宇宙服でドレスアップした中村教授の挨拶「よっ!」からセレモニーは始まった。僕の隣には学校へ行っていない藤沢市(元鎌倉市)の中学2年生MKくんがいる。

僕が勝手に思っている友人、プロジェクト2期生OKくん(鎌倉市 学校へ行っていない)は会場から中村教授に勝手な発言を仕掛ける(笑)。中村教授の凄さは挨拶に止まらず、会場からの1・2期生子どもの自由発言に「いいね」「何でそう思うの」「それ以上の発言は後で」と対等に向き合うのだ。プロジェクトパンフレットでは「ルールを超えた学びの中で。朝起きれなくたって、空気が読めなくたって、読み書きが苦手だって、ただ好きなことがあればいい」と描く。小見出しは「リアリティを追求する」「友達はいらない」「計画性のなさ」「一人よがり」「ユニークさを笑う」「非常識が生み出すイノベーション」「何もしていないのではなく、充電しているのです」と挑戦的な名言が続く。学校へ行かないリアリティを実感する。



不登校の子どもを病気や障がい追い込まず“異才”という特異なフレーズで包みこむ。その特徴を子どもが自覚すれば学びの環境(現場・仕事場)を整え先端技術者(先人・経験)をプロジェクトが用意する。この日のメイン企画も「マイクラフト(microsoft社)と安田講堂改修秘話」で2人の先端技術者と出わせてくれました。僕は約40年の時空を超え、1969年安田講堂で行動した学生と、目の前の学校へ行っていない子どもが交差する瞬間を感じた。大人のスゴサとは包みこむ凄さだ! Everything OK と言い、共に行動する力だと。

### 不登校は問題行動ではない いじめは大人社会の問題

文部科学省は2015(H27)年不登校児童生徒126,009人、90日以上欠席72,324人と公表(9/17)し通知文(9/14)を出した。不登校は「どの児童生徒にも起こり得ることとして捉える必要がある。要因や背景は多様・複雑、結果として不登校状態になっている」と規定、更に踏み込んで「『問題行動』と判断してはならない。不登校児童生徒が悪いと言う根強い偏見を払拭し、学校・家庭・社会が不登校児童生徒に寄り添い共感的理解と受容の姿勢を持つこと」と言及(注:抜粋)。本研究所と応援団は昨年3月県・3市教育行政と民間の準備会議をへて、今年5月「いじめ・不登校解決市民サミット」を開催予定です。いじめ加害者をなくし、不登校と呼ばない地域環境づくりへご支援をお願いします。本年もみな様のご多幸をお祈り申し上げます。

## 12月18日子ども若者応援団



既にMMさんが待っていた。KM 学院高校で小泉進次郎さん(サード)& 上地さん(ピッチャー & セカンド)の間でショートをと野球談議、「めっちゃめっちゃ下手で」と謙遜。5 月サミット手続き後に戻るサポセン入口で新舩さん、「体調悪くって」と…。一緒にテーブルにつき充実した会合に。議題はサミット最終案を激論! 「フレキシブルな学び(新舩)、分けない教育を地域で(島根)、地域の理解はめっちゃくちゃ難しい(高島)」と。徹夜飲み明け(笑)の涌井さん、会合後の小幡さん、新たに政治へ挑戦する加藤裕介さん(浦賀中出身 教頭時代の滝田紹介(笑))、川辺<sup>順・悟史</sup>、安川さん11人の参加でした。

### 地域で育つ子どもたち

10月より横須賀市池上のとある場所で、近隣に住む中学生のための学習の場がスタートした。始まって2か月以上が経ち、町内の掲示板や口コミなどを通じ、生徒は現在10名前後。ここは無料の学習支援の場である。株式会社スマイルの運営する通所介護施設「スマイル池上」が、昼間はデイサービスの部屋として使っている場を“地域のためにつかいたい”と、地域の人たちに相談。そこでボランティアと施設スタッフらで、中学生のための学習支援を始めることにした。生徒として通う中学生の条件は、池上中学校区に住んでいることと塾や家庭教師を利用していないことである。“わいわいスマイル@池上”と名付けられた。

横須賀市議会議員) 花の国 撮影者川辺悟史さん



毎週火曜 18 時半、子どもたちの学習が始まる。基本は自主学習である。わからないところがあれば、講師が説明をするスタイルである。講師は地域に住む大学生や教師志望の大学生、ボランティアの大人らである。19 時半、市内で子ども食堂などを開催する食生活支援団体「お結」、地域のボランティアらがスマイル池上の厨房でつくる軽食が提供される。子どもたちは勉強の合間の一息として軽食を楽しむ。その後勉強を再開し、20 時半に解散となる。

運営するメンバーらは今後 NPO 法人として活動をしていく予定とのこと。今はボランティアの交通費や食材は、スマイルさんが負担している。継続していくためには人材等もさらに必要である。今後は活動の様子を地域に伝え、協力を得ていきたいと考えている。講師のボランティアは募集中、興味がある方はスマイル池上 046-850-6878 に問い合わせを。子どもたちの居場所、地域で増えていくことを願っている。池上で生まれ育ち活動の拠点としている尊敬する友人。(新舩秀浩談)

**それぞれの風** 涌井さんのひきこもり講座を聞き、親に「ダメな子」と言われ追い込まれる子どもの実態を改めて理解した。世間は「思い込み? 考えすぎ!」、親も「言ってない」と否定するが、子どもは親・大人の顔色・態度・言葉を受け周囲を気にする…。虐待が重なる。表面で紹介した中学生2人と親は最高に凄い! 特に不登校を受けとめ温かく肯定する親の姿に感服。日々不登校の相談に関わる僕は、自分を責め続ける子どもと親がほとんどだから…だ。(滝田衛)

<p><b>【ご参加ください】</b>                  応援団会議・作業は横須賀・市民サポートセンターで行います。誰でも参加できます。途中参加・中座歓迎です。</p>	1月研究所開設日程 相談時間10時~16時土日訪問はご相談			
	1(日)	元旦	23(月)	相談室
	12(木)	鎌倉市いじめ協議会	24(火)	横須賀市支援教育委
	15(日)	Pm2 いじめ講座③	26(木)	フリーラウンジ
		Pm3:30 応援団会議	28(土)	小田原市不登校講演
	16(月)	相談室	30(月)	Pm2 通信発送作業
	19(木)	フリーラウンジ	/	/